



最初にお読みください

CentreCOM® AR740 リリースノート

この度は、CentreCOM AR740 をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書（J613-M2971-00 Rev.C）とコマンドリファレンス（613-000215 Rev.B）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。
最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 2.6.8-08

2 本バージョンで仕様変更された項目

ファームウェアバージョン 2.6.8-05 から 2.6.8-08 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が仕様変更されました。

2.1 ファイアウォール

 参照「コマンドリファレンス」 / 「ファイアウォール」

TCP の未確立セッションをファイアウォールのセッションテーブルより削除する時間を 600 秒から 12 秒に変更しました。

3 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 2.6.8-05 から 2.6.8-08 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 Telnet でのログオフ時、LOGOFF/LOGOUT コマンドを実行しても即座にログオフされませんでしたが、これを修正しました。
- 3.2 Telnet ログイン時に RESET ASYN=0 を実行すると、シリアルコンソールからのログインセッションが強制終了されますが、SHOW USER コマンドの「Active (logged in) Users」欄には「Asyn 0」からログインしたユーザーが残ったままになっていましたが、これを修正しました。
- 3.3 認証サーバーリストに RADIUS サーバーが登録されていると、レポートが発生する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.4 ログ機能のバッファオーバーによりレポートが発生する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.5 定時トリガー（CREATE TRIGGER TIME コマンド）と NTP を併用しているとき、定時トリガーの起動時刻と NTP の時刻取得のタイミングが重なると、該当トリガーが起動されませんでしたが、これを修正しました。

- 3.6 SSHによるログの取得が行えない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.7 PPPにおいて無通信時切断タイマー（アイドルタイマー）が設定されている場合、PPPモジュールを有効後、ネゴシエーションを開始しない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.8 ブリッジ設定時、PPP インターフェースより本製品宛の通信が行えない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.9 Traceroute を受けたときなど、ICMP Time Exceeded メッセージの送信時に始点 IP アドレスの選択を誤ることがありますが、これを修正しました。
- 3.10 32bit の IP アドレスが設定されたインターフェース宛の通信に対し、不正な Source アドレスにて返信していましたが、これを修正しました。
- 3.11 ADD OSPF STUB または ADD OSPF HOST コマンドがすでに設定されている状態で同一コマンドを再入力すると、OSPF Hello パケットの送受信が行われなくなりましたが、これを修正しました。
- 3.12 ファイアウォール使用時、RTSP サーバーからの再送パケットに追加データが付加されていた場合、該当パケットを正しく転送できず、結果的にクライアント側においてストリーミング再生が停止することがありますが、これを修正しました。
- 3.13 SHOW FIREWALL EVENT コマンドにて表示されるイベント数に誤りがありましたが、これを修正しました。
- 3.14 ルール NAT 使用時にレポートが発生する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.15 多数のファイアウォールセッションが存在する状態にて、セッションエイジャウトのタイミングによってはレポートが発生する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.16 TCP セッション終了時、FIN に先行して送信されたデータに対する ACK を、FIN に対する ACK として処理する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.17 ファイアウォール有効時、TCP パケットの順番が入れ替わるとレポートが発生する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.18 ファイアウォール有効時、PPTP による通信が行えない場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.19 HTTP プロキシ使用時、レポートが発生する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.20 VRRP を使用した場合、WAN インターフェースから送信される Advertizing message に 802.1Q のタグが付加される場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 3.21 CREATE ISAKMP POLICY コマンドにおいて、POLICY パラメーターに 24 文字のポリシー名を設定することができませんでしたが、これを修正しました。

- 3.22 CREATE/SET IPSEC SASPECIFICATION コマンドの INSPI/OUTSPI パラメーターにおいて、指定できる SPI 値は 65535 までに制限されていましたが、最大値 (4294967295) まで指定できるよう修正しました。
- 3.23 ISAKMP SA がハードリミット満了前の 2 つある状態で、片側の ISAKMP SA より送信されたハートビートパケットのみが 3 回連続到達しない場合、片側ルーターのみ IPsec SA が削除され、通信が行えない場合がありますが、これを修正しました。
- 3.24 PPPoE とローカルルーティングの両方において IPsec を使用する場合、IPsec のローカル IP アドレス設定が正しく行われない現象を修正しました。
- 3.25 IPsec SA の Rekey 後、古い SA を削除しない場合がありますが、これを修正しました。
- 3.26 IPsec SA の Rekey 時に Quick Mode の 1st パケットを 2 回連続で送信する場合がありますが、これを修正しました。
- 3.27 STAR 鍵交換使用時、暗号化または復号化に失敗し、通信が行えない場合がありますが、これを修正しました。

4 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足・誤記訂正

同梱の取扱説明書 (J613-M2971-00 Rev.C)、およびコマンドリファレンス (613-000215 Rev.B) の補足および誤記訂正です。

4.1 PING コマンド

「コマンドリファレンス」 / 「IP」

PING コマンドの TIMEOUT パラメーターの指定範囲が [TIMEOUT=0..65535] と記載されていますが、正しくは、[TIMEOUT=1..60] となります。訂正してお詫びします。

また、コンソール画面上でも 0..65535 と表示されますが、指定は 1..60 に制限されます。

5 取扱説明書とコマンドリファレンスについて

最新の取扱説明書 (J613-M2971-00 Rev.C) とコマンドリファレンス (613-000215 Rev.B) は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、上記の取扱説明書とコマンドリファレンスに対応した内容になっていきますので、お手持ちの取扱説明書、コマンドリファレンスが上記のものではない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※ パーツナンバー「613-000215 Rev.B」は、コマンドリファレンスの全ページ (左下) に入っています。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>